

平成30年度 難病患者在宅療養支援学習会

1 テーマ

多発性硬化症患者への在宅療養支援について

2 ねらい

多発性硬化症は、脊髄や視神経、脳など、病変ができる場所によって様々な症状が現れ、症状の再発と寛解を繰り返す病気です。脊髄が障害されると手足のしびれや運動麻痺、小脳が障害されると手の振戦や、まっすぐ歩けないなどの症状がみられます。

今回、多発性硬化症という疾病の理解を深めるとともに、予測が難しい再発に対応しながら、家族や専門職による支援を受け、療養生活を過ごしている40代男性への支援方法について検討を行うことをねらいとして、学習会を企画しました。

3 参集者

難病患者の在宅療養支援に関わる保健、医療、福祉等関係者

4 開催日時、場所

平成30年10月13日（土） 午後2時～4時 函館市総合保健センター
2階 健康教育室

5 内容

(1) 基調講演（午後2時～3時）

「多発性硬化症について(仮題)」

講師 市立函館病院 診療指導顧問 丸尾 泰則 氏

(2) 事例紹介および意見交換（午後3時～4時）

「多発性硬化症患者への在宅療養支援について」

○座長 市立函館病院 診療指導顧問 丸尾 泰則 氏

○報告者

- ・市立函館保健所 保健予防課 保健師 阿部 繭子
- ・相談支援事業所一条 相談支援専門員 宮島 友紀 氏
- ・函館訪問看護ステーション 作業療法士 松田 純恵 氏
- ・生活介護 Life みなと サービス管理責任者 原田 直人 氏